

児童養護施設で暮らした若者たちの 「その後」の物語



僕たちは、児童養護施設で育ち、今を生きている。

入場
無料

RAILROAD SWITCH

レイルロード スイッチ

開催日時

令和1年11月22日(金) (18:30 開場)

- 19:00～ 短編映画「レイルロードスイッチ」上映会
- 19:30～20:30 西坂 來人監督講演会

会場

高知県立美術館ホール (TEL:088-866-8000)

申込締切

令和1年11月18日(月) 裏面のFAX用紙にてお願いします (TEL・MAILも可)

お問合せ先

社会的養護自立支援事業おひさま
TEL:088-856-9917 MAIL:ohisama@basil.ocn.ne.jp

主催 児童家庭支援センター高知みその 社会的養護自立支援事業おひさま

後援 高知県、高知県児童養護施設協議会、高知県里親連合会、社会福祉法人高知県社会福祉協議会(こうち若者サポートステーション)、高知弁護士会、認定NPO法人カンガルーの会、子育て支援ネットワークほっとぽーと高知、一般社団法人無憂樹

短編映画「レイルロードスイッチ」

STORY

自らの生い立ちにコンプレックスを抱えている青年、和樹。

彼は若手お笑い芸人として、厳しい芸能界の底辺でもがく日々を過ごしていた。

そんなある日、和樹が出演していたお笑いライブに旧友の弘也がやって来る。

弘也は、和樹と同じ児童養護施設で少年時代を過ごした仲間だった…。

思いがけない再会をきっかけに、和樹のアイデンティティーは揺さぶられていく。



「RAILROAD SWITCH」とは、鉄道の線路の分岐器(ポイント)

この映画がきっかけとなり、少しでも多くの人に社会的養護に興味を持ってもらいたい。

多くの人に関心を持つことで、少しでも状況が良くなって欲しい。世界を少しでも変える

スイッチになりたい。タイトルにはそんな思いが込められています。

西坂 來人監督 (映像作家／絵本作家)

1985年生まれ。福島県出身。小学生の一時期を児童養護施設で過ごす。

日本映画・TVの特撮美術スタッフを経てフリーの絵本作家/映像作家に。

【自己肯定感を育む絵本づくりワークショップ】



児童養護施設を中心に実施。自分の考えや気持ちを表現することにポジティブになること、作品が完成し本になることで達成感と自信を得ることが目的。



講演会 ～映画から知る、考える、社会のあり方～

監督の生い立ちから映画を作るまで、施設で感じた不安と現実、そして現在取り組んでいる社会への啓発活動をお話して頂きます。

監督と一緒に、私たちにできることを考えましょう。

短編映画「レイルロードスイッチ」上映会・西坂 來人監督講演会 参加申込書

社会的養護自立支援事業おひさま 行き **FAX:088-856-9918**

所属先またはご住所			
ご連絡先(代表)		TEL:	
お名前			

頂きました個人情報は適切に管理し、今回の上映会に関する連絡の必要が生じた場合のみ使用致します。